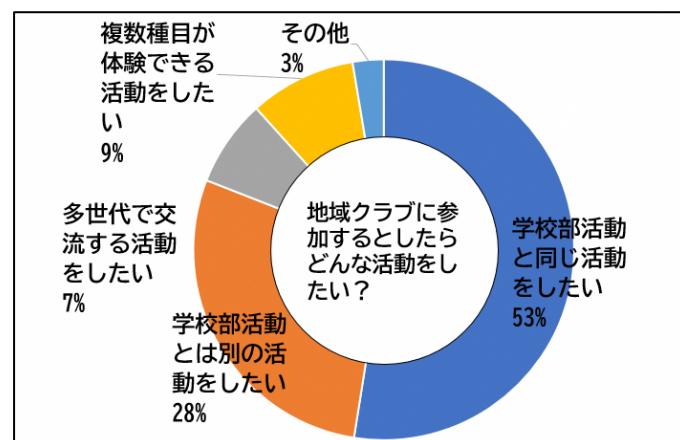
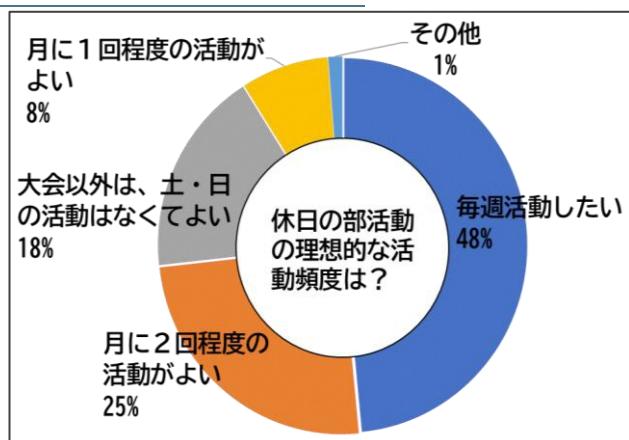


「子どもの時間 Re・デザイン」とは

本通信のタイトルである「子どもの時間 Re・デザイン」は、福島市が進める部活動地域展開のコンセプトとなるものです。「リ・デザイン（Redesign）」とは、これまでの当たり前を「再設計・再構築」することを意味します。

昨年5月に市立中学校の1・2年生を対象に実施したアンケートからは、部活動や地域クラブ活動への多様なニーズが見えてきました。（以下のグラフはアンケート結果の一部です。アンケート結果の詳細は福島市ホームページの「[福島市地域クラブ活動推進協議会](#)」のページに掲載しています。）



アンケート結果等を踏まえ、本市では単に学校部活動を地域クラブ活動へ転換するのではなく、子どもたちの休日や放課後の過ごし方を見直し、やりたいことにチャレンジできるような環境をつくるための改革にしたいと考えています。休日や放課後の時間の過ごし方は、スポーツや文化芸術活動に打ち込むことはもちろん、新しい学びへの挑戦、ボランティア活動、家族や友人と過ごす、趣味に没頭する、あるいは心身をじっくりと休めるなど、一人一人のニーズ等に合わせて多様です。子どもたちが自分の時間を豊かに彩ることができるように、様々な選択ができる環境を地域全体で整えていきたいと思います。

活動例	平日の過ごし方	休日の過ごし方
Aさん	野球部 (部活動)	野球クラブ (地域クラブ活動)
Bさん	合唱部 (部活動)	テニスクラブ (地域クラブ活動)
Cさん	バレーボール部 (部活動)	家族や友人と過ごす
Dさん	学習や趣味の時間	スイミングクラブ (地域クラブ活動)
Eさん	サッカークラブ (地域クラブ活動)	サッカークラブ (地域クラブ活動)

部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドラインが策定されました

文部科学省は令和7年12月22日、「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」を策定しました。このガイドラインは、急激な少子化が進む中でも、将来にわたる子どもたちのスポーツ・文化芸術活動の機会の確保・充実等を図るために、部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関して、国としての基本的な考え方や具体的な取組方針等を示すものとなっています。

本市においても本ガイドラインを踏まえ、地域クラブ活動を推進して参ります。



↑こちらからガイドラインが閲覧できます

学校部活動と地域クラブ活動の主な違い

区分	学校部活動	地域クラブ活動
運営	学校	地域のスポーツ・文化芸術団体等
指導者	教員・部活動指導員	地域の指導者(※)
活動場所	学校施設	学校施設・社会教育施設等
活動単位	学校単位	同じ学校に限らない
管理	学校教育の一環(学校管理下)	社会教育の一環(学校管理下外)
保険	日本スポーツ振興センター災害共済給付	民間保険(スポーツ安全保険等)
法的な区分	学校教育法	社会教育法
費用	部費・保護者会費等	受益者(参加者)負担

※地域の指導者=指導を希望する教員も含みます。

地域クラブ活動は、地域の指導者、競技団体、文化芸術団体、民間事業者、学校部活動保護者会等が中心となって行う活動です。現在活動しているスポーツ少年団やクラブチーム、各種サークル活動等も地域クラブ活動の一つです。

すでに地域展開が本格稼働している自治体では、部活動地域展開をきっかけに様々な地域クラブ活動が設立され、中学生のみならず、地域全体のスポーツ・文化芸術活動が活性化してきているという例もあります。

週末合同練習会、地元企業の方にもご協力いただきました

令和5年度にスタートした競技団体及び文化団体主催の週末合同練習会は、今年度は7種目(スポーツ6、文化1)で実施しています。

昨年12月20日(土)に岳陽中学校体育館で実施したバドミントン競技の合同練習会では、福島市に本社があり、バドミントンガットの研究開発・製造を手掛ける、CRSスポーツ工業株式会社から4名の方を講師にお招きし、市内40名以上の生徒が参加し、活動しました。

フットワークやシャトルを使った基礎練習をしたり、ゲームではトップレベルのシャトルスピードを体感したりして、参加生徒は大興奮の中、心地よい汗を流していました。ご指導いただいたCRSスポーツ工業株式会社の皆様、ありがとうございました。



地元企業とのコラボは今回が初めてとなります。今後多くの地域の方々にご協力いただければと考えています。

以下は、参加した生徒の感想です。

「バドミントン講習会に参加して」

基礎練習からゲーム練習まで、とても密度の濃い時間を過ごすことができました。特に基礎練習では、普段自分たちだけでは気づけないフォームの癖や足運びの重要性を再確認でき、大変勉強になりました。



また、後半のゲーム練習では講師の方々に実際に相手をしていただき、トップレベルのスピードやシャトルの重みを肌で感じることができました。真剣勝負の中にも楽しさがあり、終始笑顔の絶えない充実した時間となりました。今回学んだことを今後の練習に活かし、さらなるレベルアップを目指したいと思います。

「講師4名を迎えてのスペシャル講習会！」

4名の講師の方々に来ていただき、基礎からゲームまでたっぷり指導してもらう贅沢な一日でした。基礎練習では「なるほど！」と思う発見の連続で、基本の大切さを改めて痛感しました。そして何より盛り上がったのがゲーム練習です！講師の方に直接相手をしていただき、異次元のショットを間近で見られて大興奮でした。



手加減なし(?)のラリーは本当に楽しくて、あっという間の時間でした。教えていただいたポイントを忘れないうちに、次回の練習からしっかり取り組んでいこうと思います。講師の皆様、本当にありがとうございました！